

第3回茅野市特別職報酬等審議会会議結果報告書

【担当課】総務課

会 議 の 名 称	第3回茅野市特別職報酬等審議会		
開 催 日 時	令和8年6月30日（火） 午後7時～午後8時30分		
開 催 場 所	茅野市役所701・702会議室		
出 席 者	【委員】金子会長、阿部委員、吉田委員、勅使川原委員、小林委員、飯田委員、安達委員、藤森委員 【事務局】森井総務部長、矢島総務課長、平林職員係長		
欠 席 者	【委員】高村委員、百瀬委員		
公開・非公開の別	公開・非公開	傍 聴 者 の 数	2人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
会長	1 開会（会長） 2 会長あいさつ 3 委嘱書の交付 柿澤副市長から、交代された委員に委嘱書が交付される。 （副市長退席） 4 審議 （1）答申の内容について （1）答申の内容について議題といたします。前回の意見を踏まえ、事務局が作成した答申書の案を元に審議を進めたいと思います。まずは、事務局から答申案の説明をお願いします。		
事務局（平林係長）	それでは、答申書の案について説明いたします。 （答申書の案及び下記資料について説明） 資料12 議員報酬の水準設定、算出例等に関する資料（全国市議会議長会資料他） 資料13 市議会議員報酬に関する調査結果（全国市議会議長会資料） 資料14 長野県及び県内19市の議員報酬等の状況 資料15 「適切な議員報酬の算定方法を考える」（宮城県名取市議会研修会資料） 資料16 「議会議員の報酬と定数の改定に関する市民説明会 質問・意見等 一覧」（佐久市議会住民説明の結果資料） 資料17 「小諸市議会議員定数及び報酬等検討委員会調査検討最終報告書」（小諸市議会調査結果報告資料）		

会長	それでは、これまでに出示された資料等を基に答申の内容について 議論を深めたいと思います。 まずは、委員各自の率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。どなたかご意見はございませんか。
委員	どこの自治体も何を基準に報酬額を決めていくのか同じように悩んでおり、議員の活動量が着目されていることが分かりました。
委員	社会状況や長い間据え置かれてきた状況から、増額していいという気持ちはあります。ただ、茅野市議会として報酬を上げてほしいと言っているにも関わらず、活動実績を5名の議員が回答すらしていないことが残念でならない。市民感情が分かっていないと思います。議員報酬を上げる方向に向かっていることに反対はしませんが、年間だと手当も含めて約66万円上がり、上がり幅が大きいので、市民が納得できるか疑問です。基準がない中、段階的に上げるという考え方でもよいのではないのでしょうか。また、市長等の理事者も上げる方向になるのか含めて考える必要があります。政務活動費の額を上げて調査研究を頑張る対応でもよいと思います。時期尚早と思っている議員もあり、茅野市では定数割れも起きていないため、もう少し考えた方がよいと思います。志を持った方に議員になってほしいと思います。
委員	内容はおおむねよいと思います。18年据え置かれている現状と、近年の物価上昇を考慮すれば増額の背景として妥当だと思います。どこかで根拠となる数字が必要な中、一般職の給料に合わせるというのも理解できます。期末手当で差をつけることが難しいことも分かりました。他市との比較やなり手不足の解消等も網羅されているので、この答申案でよいと思います。
委員	意見がしっかりまとまった答申案だと思います。増額改定は妥当であり、付帯意見については、是非議会で検討していただきたいです。
委員	市民の方からの意見書は全委員さんに届いているのでしょうか。届いている人届いていない人がいると情報格差にならないよう取り扱うべきだと思います。
会長	それぞれ有識者が意見を出していく場ですので、一住民の意見として、各委員で咀嚼してください。
委員	金額の改定については賛成です。付帯意見に関して、実績を定量的に公表してほしいという表現は、より強く求めてもよいと感じました。働きによって報酬に差をつけるのは制度上難しいことには納得しました。増額水準は大きいですが、他市平均よりは低いいため、議会がどれだけの報酬を持つべきかについては、今後も議論が必要だと思います。
委員	金額についてはよいと思います。議員の活動を市民が納得できれば、今

	後も上げていけると思います。18年間据え置きだったことも問題ですので、定期的に少しずつ上げていくのもよいと考えます。議員には市民が納得できる活動をお願いしたいです。
委員	額の設定は難しいですが、金額についてはよいと思います。市民の議会への関心が薄く、相談できる議員がいないと考える市民が多い中、今回の議論が関心を高めるきっかけになればよいと思います。付帯意見について、公表の仕方や、議会からの回答はあるのでしょうか。次期改選で市議も変わるため、要望を出したからには回答をいただけると納得感も高まると思います。
会長	付帯意見に対して、議会から回答はあるのでしょうか。
事務局（森井部長）	審議会は答申を出すまでが役割となります。答申書はホームページで広く公表されるため市民からの声もあると思いますが、仕組みとして回答をチェックすることにはなっていません。条例改正の説明等でしっかりお伝えはしますが拘束力はありません。ただ、議会側は特別委員会を設置して諮問してきており、何らかの対応は特別委員会でされていくと考えています。
委員	現議員が諮問を出してきた責任上、3月までの活動実績を出してほしいと求めることはできると思います。今まで報酬が上がってこなかったのは、市長等も含め身を切る改革を行ってきた背景があることも補足させてください。
会長	金額については、皆様賛成の方向でよいでしょうか。
全委員	よいです。
会長	それでは、付帯意見について詰めていきたいと思います。ご意見をお願いします。
委員	活動実績の開示を「今年度から実施してほしい」と入れてはどうでしょうか。また、議会ホームページ等に議員個人の活動報告を掲載することはできないでしょうか。我々の力で内容まで決めるのは難しいので、是非議会で検討してほしいです。
事務局（平林係長）	議会事務局は議会活動のサポートをしており、個人の地域活動は感知できないため、ホームページ等への掲載がどうなるかは研究が必要です。
委員	「広報ちの」にちの市議会だよりが載っており、そこに入れていくのもよいと思います。本会議や委員会の出席状況は最低限の活動内容であり、調査研究や聞き取りなどの個人の活動こそが大事なので、是非公表してほしいです。ただし、内容や見せ方については議会にお任せしたいと思いま

	す。
委員	議会だよりもホームページも、見ようと思わないと情報が得られません。もっと積極的にプッシュ型で発信できる方法があればよいと思います。
委員	付帯意見として細かく書くより、議会にボールを投げて知恵を絞ってもらい、どうしたら適正だと市民に訴えることができるかを自分たちで考えてもらうのがよいと思います。
委員	付帯意見の議会活動と議員活動の情報公開については、「今年から」「全議員が」という言葉を付け加えてほしいです。報酬改定は次期改選からになりますが、情報の公開については、現在の議員にもやっていただきたいです。
会長	付帯意見の議会活動と議員活動の情報公開については、「今年から」「全議員が」という言葉を付け加えてよいでしょうか。
全委員	よいです。
委員	市民が議員の活動量や質を見て納得できるかが重要だと思います。活動の開示の仕方については議会ですっかり考えていただきたいです。量だけでなく質も伴う必要があります。やっている人とやっていない人の差が当然出てくるので、議員を選ぶ際の基準にもなるかと思います。今回の答申が議会に情報開示について考えていただくよいきっかけになると思います。
会長	議員報酬だけで生活することは難しく、政務活動費も月額 1 万円、年間 12 万円しかもらえません。その中で若い人が議員をやるのは大変難しいという根本的な問題があり、改定額の検討は、結果的に他市の平均報酬に行き着いてしまう難しさがあると感じました。
委員	政務活動費は月 1 万と決まっているのでしょうか。
事務局（平林係長）	条例で規定されています。
会長	政務活動費は、根拠となる領収書の提出が必要で、使わなかった場合は返納するという認識です。
委員	しっかり活動されていれば絶対足りない金額のはずです。
委員	本会議や委員会に出るのは会社員で言えば会社に行くのと同じで最低限当たり前のことです。活動の見える化については、今年から全議員でやってほしいと強く言わないと変わらないと思います。単に報酬が上がってラッキーと思う人もいるかもしれないので、納得のいく見える化が必要です。

	議員に対して見える化をやってもらおうと、議員同士でも「あの人には負けたくない」という競争意識が働き、結果的に茅野市が良くなっていくことにつながると思います。
会長	どこも議員の見える化や実績を求めています。市民が納得できるようしっかりやっていただきたいというのは皆の共通意見だと思います。それでは、付帯意見を修正した内容で市長に答申することといたします。答申案の最終確認は会長一任でよろしいでしょうか。
全委員	よいです。
会長	委員の皆様には慎重審議をいただき、ありがとうございました。私の方で市長へ答申させていただきます。以上で、第3回茅野市特別職報酬等審議会を閉じさせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。